

基本方針 4

人・資源・立地を活かし、
未来を拓く産業のまちづくり

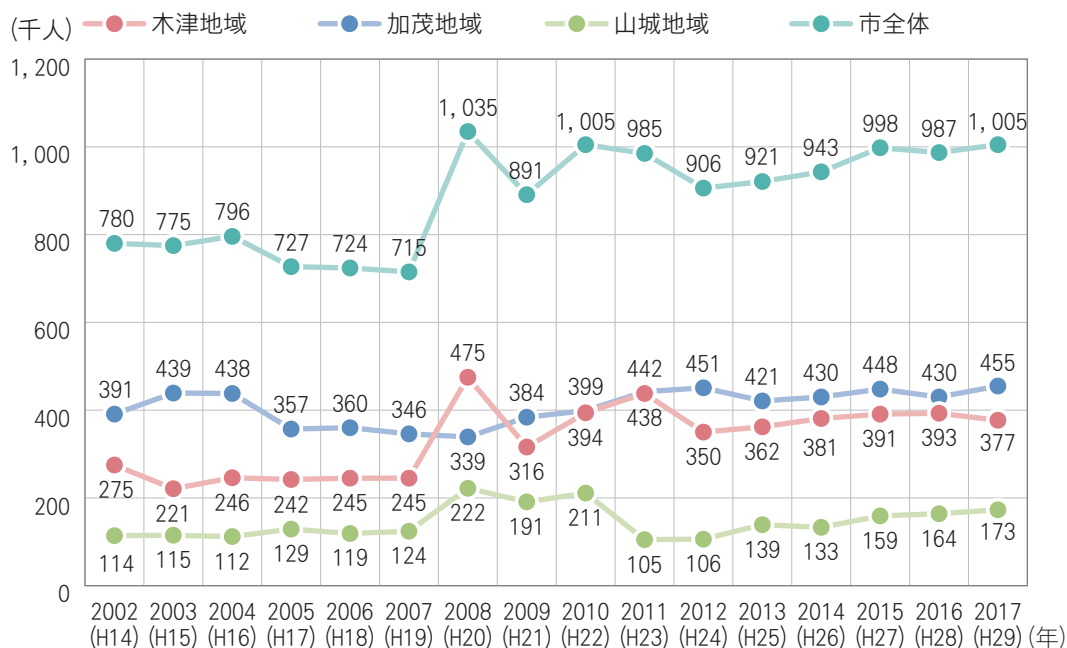


政策分野 8 観光交流

課 題

木津川市は豊かな文化財や自然、町屋からなる歴史的景観などに恵まれ、所有者の協力を得て保存を図るとともに、観光などの地域づくりに活用してきましたが、これまで以上の資源間のネットワーク強化が求められています。外国人観光客の増加や道路網整備など観光客の来訪環境の変化も踏まえ、地域資源を適切に保存するとともに、有効に活用し誘客や地域の価値の向上につなげることが重要です。

木津川市を訪れた観光客数



資料：京都府統計書、木津川市統計書

方 針

「お茶の京都」をはじめとするテーマ性・ストーリー性を持たせた資源間のネットワーク、効果的な情報発信と来訪者などの受入体制の充実を図るとともに、周辺自治体とも連携した広域的な周遊型観光戦略を進めます。これらの取組みの素材となる文化財をはじめとする地域資源・景観の発掘、現状把握と保存・保全策の充実を図るとともに、地域と一体となって新たな魅力を引き出し、市民のまちへの愛着や誇りを深め、観光交流につなげます。

施策① 観光振興

【所管課】観光商工課

ア．観光振興

魅力ある地域資源の活用

- ・地域の優れた歴史的遺産や文化的遺産、歴史的に水運を利用してきた木津川を中心とする豊かな自然環境及び農林業などを活用した観光活動を推進するとともに、木津川市と関連性の強い奈良・京都の歴史的遺産、文化的遺産との連携で、相乗効果を活かした広域的な観光ルートの充実や観光・交流産業の育成・発展を図ります。
- ・観光協会、NPO、ボランティア、ふるさとミュージアム山城などと連携・協働し、観光振興に取り組めます。
- ・一般社団法人京都山城地域振興社（お茶の京都DMO）を中心に進められている「やましろ観光」事業と連携・協働し、歴史探訪や自然体験などの広域的な事業への参画を図り、新たな地域の魅力の掘り起こしを進めます。

地域が主体となった観光の推進

- ・森林・里地里山を観光レクリエーションや体験型・滞在型学習活動の場として活用するため、森林公園、NPO、ボランティアなどと連携・協働した取組みを推進します。
- ・地元の農産物などの活用や、工芸品など特産物の開発を促進するとともに、販売ルートの確立を図ります。
- ・市民などの地域間交流及び観光産業・地域産業の振興を図るため、市民協働による祭りやイベントなどの支援を進めます。
- ・歴史的な町並みや、地域特産品などの特色を活かした地域づくりと地域の魅力発信に努め、戦略的に観光産業の展開を図ります。

イ．歴史と自然のネットワークづくり

- ・多様な観光関連団体などと連携し、市内に数多く点在する豊かな歴史的遺産、文化的遺産などを活かした観光コースづくりや探訪ツアーの実施に取り組めます。
- ・観光案内板やまちかど観光案内所の充実に努め、多言語対応パンフレットなどを活用し、観光地に訪れる市民や観光客の快適性を高める取組を進めます。
- ・現代アートの活用やクリエイター*と連携し、市内の各地域の魅力を発見・発信します。

ウ．旧奈良街道や大仏鉄道の活用

- ・山背古道を活用したウォーキング事業や、沿線周辺の店舗などと連携し、地域の魅力を伝える取組を進めます。
- ・奈良市や関係団体と連携しながら、ウォーキングルートである大仏鉄道遺構めぐりを観光資源として活用し、まちへの愛着づくりや魅力発信を進めます。

総論

基本構想

基本計画

基本方針 1

基本方針 2

基本方針 3

基本方針 4

基本方針 5

基本方針 6

基本方針 7

資料

資料

総論
基本構想
基本計画
基本方針 1
基本方針 2
基本方針 3
基本方針 4
基本方針 5
基本方針 6
基本方針 7
資料

関連計画

- お茶の京都木津川市マスタープラン（2015 年度策定）
- 当尾地域力創造プラン（2015 年度策定）

成果指標

指標項目	現況値 (2017 年度末)	方向性 (2023 年度末)
木津川市を訪れた観光客数	1,005,158 人	↑
観光消費額	2,281,425 千円	2,500,000 千円
観光ボランティアガイドの登録者数（累計）	100 人	↑
まちかど観光案内所数（累計）	72 か所	↑

施策② 文化財の保全・活用

【所管課】文化財保護課

ア．歴史的・文化的遺産の保全と活用

- ・ 史跡恭仁宮跡の公有化を進めるとともに、観光スポット・歴史学習の場としての環境整備を進めます。
- ・ 当尾地域の緑豊かな環境のもと、浄瑠璃寺・岩船寺・石仏群などを活かした歴史学習や散策コースなど、レクリエーション空間としての環境整備を進めます。
- ・ 史跡椿井大塚山古墳の保存と史跡高麗寺跡の保存活用整備を進め、文化遺産の保全を図ります。
- ・ 史跡奈良山瓦窯跡と史跡神雄寺跡の保全を図り、周辺と調和のとれた環境整備を進めます。
- ・ 市内の文化財の保護活用マスタープランにつながる木津川市歴史文化基本構想の策定に取り組み、文化財保存活用地域計画を作成します。
- ・ 国宝を含む国指定文化財や府指定等文化財、市指定文化財及び未指定文化財など、文化財の保全を支援します。
- ・ 地域の伝統芸能など、貴重な文化遺産を守り、継承していくための支援に努めます。

イ．市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開

- ・ 地域史研究者、各種団体、小中学校との連携による文化財の啓発・学習事業を進めるとともに、啓発展示などの情報発信を進めます。
- ・ 市内の自然・文化・産業などとともに文化財を資源として市民とともに活用する体制の構築に努め、市民のふるさตに対する誇りと郷土愛の向上に努めます。

関連計画

● 木津川市文化財保存活用基本計画（2015 年度策定）

成果指標

指標項目	現況値 (2017 年度末)	方向性 (2023 年度末)
文化財出前講座開催件数	17 件	22 件
史跡恭仁宮跡公有化率	50%	55%



海住山寺五重塔（国宝）



岩船寺三重塔（重要有形文化財）



浄瑠璃寺吉祥天立像（重要文化財）



浄瑠璃寺阿弥陀如来坐像（国宝）

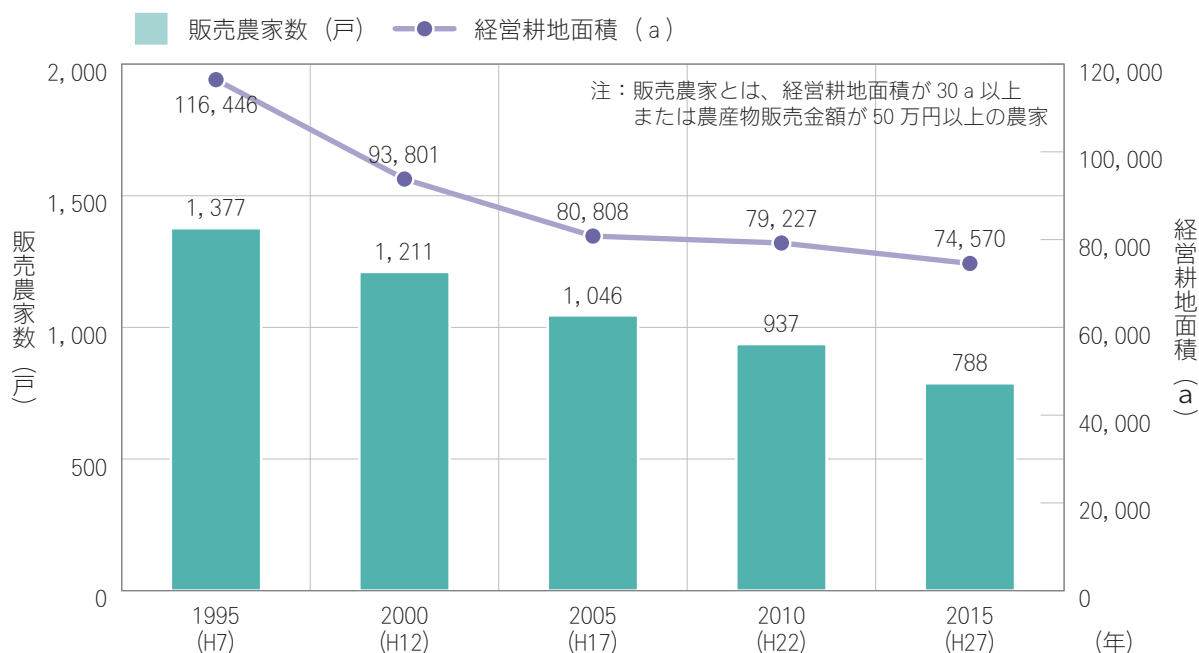
総論
基本構想
基本計画
基本方針 1
基本方針 2
基本方針 3
基本方針 4
基本方針 5
基本方針 6
基本方針 7
資料

政策分野 9 産業・雇用

課 題

農業や地域産業は、生産性の低下や後継者不足により、維持・継承することが難しくなりつつあります。今後の人口減少に伴う労働力不足に対応するため、市内での創業者支援や産業の振興・活性化などにより雇用を確保し、若者や女性、高齢者などが市内で希望に沿った働き方ができる環境が求められています。

販売農家数及び経営耕地面積の推移



資料：農林業センサス、木津川市統計書

方 針

市内産品のブランド化や異業種間の連携強化により、付加価値や魅力を高めるとともに、担い手を育成することで、経営の安定化を図り、産業の活性化を図ります。起業しやすい環境を整えるなど、若者、女性、高齢者の多様な働き方のニーズに対応した職業や、就業の選択肢及び就労機会の拡大を図ります。

施策① 農林業

【所管課】農政課・建設課

ア. 安定した付加価値の高い農業の振興

農業経営の安定対策

- ・農業の経営感覚のある人づくりのための取組みを支援します。また、女性の経営参画と農業技術や経営管理などの向上に向けた支援を進めます。
- ・営農基盤づくりのため、かんがい排水施設*整備、老朽ため池の改修など、農業生産基盤整備を計画的に進めます。
- ・遊休農地の発生防止及び農業施設の長寿命化を目的とし、農業などの担い手に集中する水路・農道などの管理を地域で支え、農地集積にかかる活動を支援します。

担い手育成支援

- ・担い手不足の解消のため、ＪＡや関係機関と連携し、農業技術者研修や営農指導の充実に努めます。
- ・遊休農地や耕作放棄地を増やさないために、地域ぐるみによる農業振興などの取組みを支援します。
- ・意欲ある新規就農者などに対し、農地集積による受入体制の強化を図るため、京力農場プランの作成を支援します。

ブランド農産物の推進

- ・地域特性を活かした伝統野菜の産地形成を進めるとともに、新たな農産物の開発や付加価値化を推進するとともに、農業者などによる市内農産物のブランド化に向けた事業を支援します。
- ・市内農業者、経営者、学識者、一般消費者、クリエイター*などで組織する「木津川市農で頑張る協議会」と連携し、ブランド農産物の開発など、都市近郊農業の振興及び活性化を図ります。

茶業の振興

- ・茶業の振興を図るため、「お茶の京都マスタープラン」に基づき、戦略的な拠点づくりや、お茶をテーマとした広域観光・地域活性化に係る「お茶の京都DMO」事業などとの連携を進めます。
- ・茶生産者の育成を図るため、茶品評会の出品に対する支援を進めます。

地産地消の推進

- ・学校給食との連携や、観光商工団体の協力などにより、市内農産物の直売所の設置に向けた支援など、地産地消を推進するとともに、地域における豊かな食文化の創造と発展を図ります。

鳥獣被害対策

- ・有害鳥獣*などによる農作物への被害を防止するため、京都府などと連携し、被害の実態調査、研究、生息個体数の適正な管理、防除施設の設置を支援します。

総論
基本構想
基本計画
基本方針 1
基本方針 2
基本方針 3
基本方針 4
基本方針 5
基本方針 6
基本方針 7
資料

イ．豊かな里山づくりへの林業の振興

- ・森林整備計画に基づき、森林資源の保全など、地域の特性に応じた林業振興施策を推進します。
- ・森林組合、N P O、ボランティアなどと協働し、放置竹林や松枯れ及びナラ枯れ対策など、森林の保全を図ります。
- ・京都府豊かな森を育てる府民税などを活用し、森林の整備や保全、森林資源の循環利用を進めるための取組みを進めます。

関連計画

- 木津川農業振興地域整備計画（2014 年度策定）
- 木津川市森林整備計画（2018 ～ 2027 年度）
- 木津川市鳥獣被害防止計画（2017 ～ 2019 年度）
- お茶の京都木津川市マスタープラン（2015 年度策定）

成果指標

指標項目	現況値 (2017 年度末)	方向性 (2023 年度末)
京力農場プランの作成地域数（累計）	7 地域	9 地域
市内農産物直売所数（累計）	12 か所	14 か所

施策② 商工業

【所管課】観光商工課

ア．商業の活性化

- ・快適で利便性の高い商業環境の整備、商業の経営基盤の強化を進め、商業の活性化を支援します。
- ・便利でにぎわいのある中心都市拠点を目指すとともに、加茂・山城地域の都市拠点において各地域の日常生活拠点として、商業・業務機能の充実を図り、活力あるまちづくりを進めます。

イ．中小企業振興

- ・少子高齢化や人手不足、働き方改革*への対応など、厳しい事業環境を乗り越えるため、中小企業の先端設備などの導入を促し、市内中小企業の労働生産性の向上を図り、関西西文化学術研究都市*の中核地としてさらなる経済発展を推進します。
- ・中小企業について、ものづくりフェアなど広く市民に周知する機会を設け、地元地域における購買意欲を促し、地域経済の活性化を図ります。
- ・高齢者や交通弱者が買い物に困らないよう、また、商業者の高齢化や後継者不足などの解消に向け、商工会と連携し、地域経済の活性化を担う人材づくりや、時代に合わせた商店経営を支援します。
- ・市内企業や個人事業主の競争力の強化や販路拡大を支援し、市内産業の活力強化を進めるとともに、P Rを図ります。

ウ．伝統産業の支援・振興

- ・相楽木綿から発達した織物や織物ふすま紙をはじめ、柿渋などの伝統産業の支援に努め、振興を図ります。

エ．市内企業の連携強化

- ・学研地区に立地する企業のみならず、市内の中小企業同士の交流を深めるため、また、新たな産業創出のため、異業種間連携懇談会を開催するとともに、地元定着、流出防止対策を推進します。

オ．企業誘致

- ・京都府や関係機関などと連携し、周辺環境に配慮した企業の積極的な誘致活動を展開します。
- ・企業立地を促進するため、効果的な支援制度などを検討します。
- ・景気動向や企業の立地需要に応じた土地利用の規制緩和や整備手法を検討します。

カ．コミュニティ・ビジネスの促進

- ・地域内の多様なニーズに対応した事業手法として、コミュニティ・ビジネスの促進を図ります。

関連計画

- 地域商業ガイドライン（2007 年度～）
- 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画（2018 ～ 2020 年度）
- 地域未来投資促進法に基づく京都府山城地域基本計画（2017 ～ 2022 年度）

成果指標

指標項目	現況値 (2017 年度末)	方向性 (2023 年度末)
ものづくりフェア来場者数	450 人	↑
産業競争力強化支援事業利用件数（累計）	24 件	↑
先端設備等導入計画に係る認定件数（累計）	0 件	30 件

総論
基本構想
基本計画
基本方針 1
基本方針 2
基本方針 3
基本方針 4
基本方針 5
基本方針 6
基本方針 7
資料

総論
基本構想
基本計画
基本方針 1
基本方針 2
基本方針 3
基本方針 4
基本方針 5
基本方針 6
基本方針 7
資料

施策③ 雇用対策

【所管課】観光商工課

ア．創業支援・雇用対策の充実

雇用の場の確保

- ・雇用吸収力の高い企業の誘致や、既存企業の活力向上などの支援に取り組み、魅力ある雇用の場の確保に努めます。

就業支援対策の強化

- ・ジョブパーク*やハローワークなど関係機関と連携し、就業機会の確保や就業能力開発などの就業支援対策の強化に努めます。
- ・市内企業の情報を提供する機会を設け、新規高等学校卒業者などの就職希望者が、市内で働く場を確保できるよう努めます。また、企業の雇用確保の観点から、就職フェアなどのイベント情報を提供するなど、地元雇用につながる施策を展開します。

創業支援の充実

- ・創業支援相談窓口を設置するとともに、木津川市商工会や各創業支援機関と連携し、創業セミナーや個別相談のほか、創業後においても継続的に支援するなど、創業機運の醸成を図ります。

関連計画

- 木津川市創業支援事業計画（2016～2020年度）

成果指標

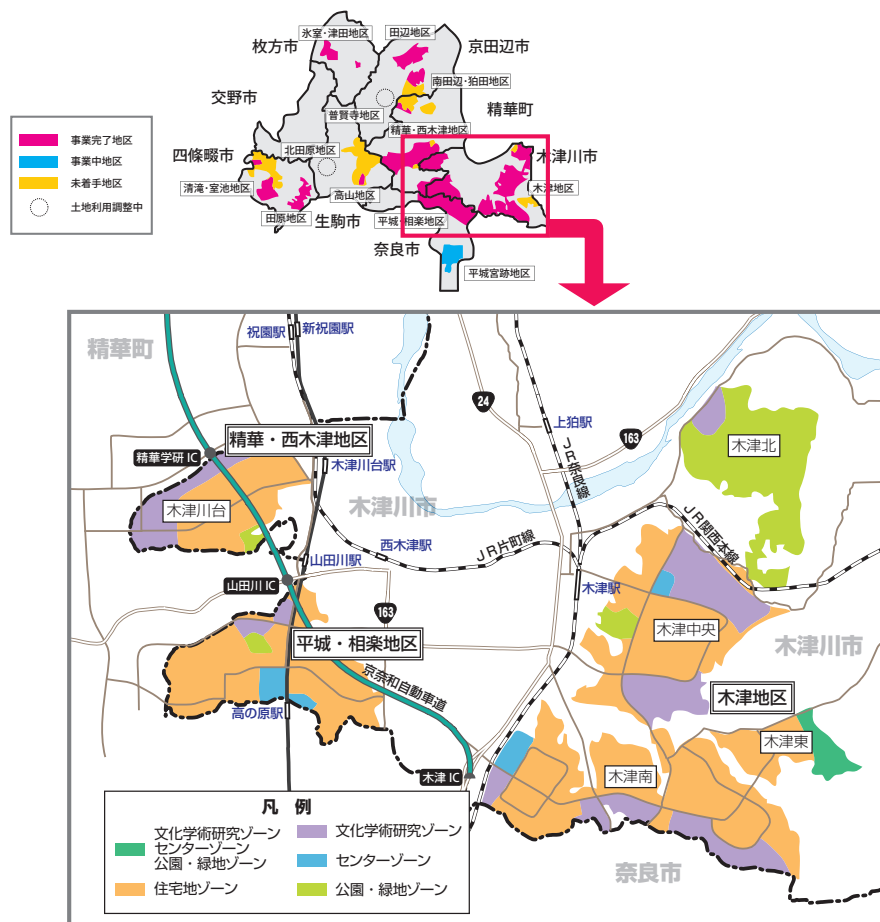
指標項目	現況値 (2017年度末)	方向性 (2023年度末)
市内誘致企業における市民雇用者数	473 人	↑
特定創業支援事業に係る証明書交付者数（累計）	3 人	111 人

政策分野 10 関西文化学術研究都市*

課 題

文化・学術・研究の拠点としての役割を担う学研地区の基盤が整備され、企業・研究所などの立地が進みつつあります。これら先端的な知の集積ともいえる施設群が持つ機能、活動の成果や情報発信力などを地域の産業をはじめ文化や生活にも活かすことで、産業の活性化のみならずまちづくりにつなげていく必要があります。

学研地区の整備状況（平成 29 年 3 月現在）



資料：関西文化学術研究都市（京都府域）の建設に関する計画（京都府）

方 針

学研地区への企業・研究所の誘致を引き続き進めるとともに、立地企業間、立地企業と市内商工業者間の連携を図り、最先端の学術研究や科学技術などの成果を活用することで、既存産業の再生・活性化や新規産業の創出を図ります。

また、関西文化学術研究都市にふさわしい市街地、景観などを整備することで、木津川市の都市的な価値を高めます。

総
論

基
本
構
想

基
本
計
画

基
本
方
針
1

基
本
方
針
2

基
本
方
針
3

基
本
方
針
4

基
本
方
針
5

基
本
方
針
6

基
本
方
針
7

資
料

総論
基本構想
基本計画
基本方針 1
基本方針 2
基本方針 3
基本方針 4
基本方針 5
基本方針 6
基本方針 7
資料

施策① 関西文化学術研究都市*の活用

【所管課】学研企画課・観光商工課・都市計画課

ア．関西文化学術研究都市の整備促進

個性ある都市景観の形成

- ・道路・公園・緑地などの公共空間と民有空間の双方が協力し、統一感のある質の高いまちづくりを進め、豊かで潤いのある魅力的な関西文化学術研究都市の個性ある都市景観の形成に努めます。

関西文化学術研究都市機能の充実

- ・関西文化学術研究都市の中核を担う自治体として、大学などの文化学術研究施設や研究開発型産業施設*の立地を推進するなど、その都市形成と機能充実に促進します。
- ・関西文化学術研究都市の魅力を高めるため、構成自治体や関係機関などとの産学官連携を進め、情報発信を図ります。

学研木津北地区

- ・学研木津北地区では、木津川市の里地里山景観のシンボル性や歴史的重要性を考慮し、生物多様性木津川市地域連携保全活動計画に基づき、地域づくりや地域振興の資源として、里地里山保全を図るとともに、各種団体や市民参加による里地里山保全活動を支援します。

学研木津東地区

- ・学研木津東地区では、主として、文化学術研究施設や研究開発型産業施設などの集積を図る区域（文化学術研究ゾーン）などとするとともに、良好な環境の創出を誘導するエリアとしての土地利用を検討します。

ハイタッチ・リサーチパーク（平城・相楽地区）の活性化

- ・ハイタッチ・リサーチパークでは、研究開発型産業施設などの立地による新たな事業展開や活性化を推進します。

都市的サービス機能の充実

- ・関西文化学術研究都市のセンターゾーンにおいて、商業核などの都市的サービス機能の充実に促進します。

イ．関西文化学術研究都市との連携

科学技術を活用したまちづくり

- ・多様化する地域課題に対応するため、関西文化学術研究都市における教育・産業・医療・福祉・交通などの各分野の最先端技術と、情報が集まる知の集積である大学・研究機関・企業との連携・協働による取組みを推進します。

研究成果を活用したまちづくり

- ・学研地区内に立地する京都大学大学院農学研究科附属農場や同志社大学（学研都市キャンパス）をはじめとする大学・研究機関・企業の連携を強化し、木津川市の農産業資源などへの有効活用を図ります。

新たな文化の創造

- ・関西文化学術研究都市の先進的な研究活動や新しいまちづくりを活かしつつ、市民が主人公の新しい地域文化の創造活動を支援します。

新産業・新事業の創出

- ・地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、新産業創出交流センターと連携し、研究所や研究開発型産業施設などの集積を活かした新産業・新事業の創出を目指します。
- ・新産業創出交流センター主催のフォーラムや商談・展示会などにおいて、関西文化学術研究都市をPRするなど、さらなる企業立地を促進します。
- ・立地企業等懇談会など、立地企業間の交流を図り、新事業の創出や企業間連携を促進します。

雇用の創出

- ・関西文化学術研究都市の中核を担う自治体として、研究所や研究開発型産業施設などが集積する利点を活かし、地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、市内に本店又は工場、研究所などを設置する企業の支援を充実します。

関連計画

- 木津川市学研木津北・東地区土地利用計画（2012 年 2 月策定）
- 生物多様性木津川市地域連携保全活動計画
～みもろつく鹿背山再生プラン～（2014 ～ 2023 年度）
- 地域未来投資促進法に基づく京都府木津川市基本計画（2017 ～ 2022 年度）

成果指標

指標項目	現況値 (2017 年度末)	方向性 (2023 年度末)
学研地区内の誘致事業所数（累計）	25 事業所	↑

総
論

基
本
構
想

基
本
計
画

基本
方針
1

基本
方針
2

基本
方針
3

基本
方針
4

基本
方針
5

基本
方針
6

基本
方針
7

資

料

総

論

基本
構
想

基本
計
画

基本
方針
1

基本
方針
2

基本
方針
3

基本
方針
4

基本
方針
5

基本
方針
6

基本
方針
7

資

料

